# ル放射性廃棄物の処分候補地となる不安

高レベル放射性廃棄物

使用済核燃料から再

処理によってウラン、 プルトニウムなどの

有用物を分離した後

に残る放射能レベル

の高い廃棄物。ガラス

原料と一緒に高温で 溶かしてガラス固化 し、ステンレス製容器

の中で固めたもの。

### が調査の 中止を要請

## 調査対象地域全国で四カ所



【調査予定範囲】

似田貝

六角牛山

早池峰山

小田岬

石上山

保安院」)が、 全・保安院 産業省の原子 政法人日本原子力研 この調査は、 独立行 力 経済

構」)に委託して実施 ベル放射性廃棄物の 究開発機構(以下「機 しているものです。 高レ 調査は、

所が調査対象地域となっていまいます。全国で当市を含む四カ術的データを取るためとされて トルの広域を対象とする地下水援するため、数十~百キロメー地層処分に対する安全規制を支 の安全性の評価や基準策定の学トルの広域を対象とする地下水

そして全国でも当市だけを対象状態を調べる「地上物理探査」、ら地下に電波を発信して岩盤の 確認する「地表踏査」と、 地表か

地質や湧き水を目で

市では、

地表踏査実施予定範囲 地表物理探查予定側線

遠野市

遠野

分されています。 リング調査に区

ことなどを伝えてきましたが

### という説明

なって八月に機構から一連の調るという話があり、今年度にから、十八年度実施の予定であ 説明を受けてきました。はじめ院から、担当者を通して数回の から、十八年度実施の予定であは去年の三月末に機構の担当者 これまで機構や保安 はじめ

査概要の説明 月に保安院

**ベニン**ボーリング調査予定地域

ないか、市民 つながるので いと思われるの理解も難し 性廃棄物の処 査実施の説明同じように調 がありました。 と機構から、 市としては るし

ました。 て進めるという説明がされてき 的調査であり、 機構側からは、 このため市では、

調査の性格

握するとともに、機構側に対しや意図など有識者から情報を把 会などに努めてきました。 担当者間での疑問点の

#### 叩長が反対を表明闘時記者会見で

末に終了 説明会を行わないまま、 地作業を、 る地表踏査や地上物理探査の現 実施される一般的調査として このよう への説明後、 しています。 市の意向とする住民 な中で機構側は、 全国各地で機構側は、十 十一月

計画していることがわかりまり 調査が予定されているほか、 二月中旬からはボ 九年度も引き続き調査を

これ らの状況と独自

市長は、

開催しました。参各種団体や市民 12月15日、保安院と機構から説明

対と即時中止を求める表明を行

機構側に調査の反対を伝えて

力を約束するとともに、

県から

反対の大きな理由として、

全

臨時記者会見を開き、調査の反

構に中止を求める連絡をすると

十一月三十

市長が

これに対し、

増田知事は全面協

止に向けた支援を依頼しました。

調査に反対することを決断。

機

記者会見後、

増田知事に調査の即時中会見後、市長は県庁を訪

これに対し市長は、ありました。

市民の不安や懸

学術的な

説明と協力依頼の文書の提出がら、初めて正式に市長へ調査のら、初めて正式に市長へ調査の見センター長が来遠。報道関係 者など公開の席で、倉機構安全研究センター ·の石島清

を 主と」を目指してまちづくりを 文化を大切に「永遠の日本ふる でと」を目指してまちづくりを

この時期になったことについてを市長が説明。市民への公表が

『重大なこととの認識から、

査の反対表明に至った経緯など

国のエネルギ

政策の概要や調

安をぬぐ

(をぬぐいきれないこと、特にながるのではないかという不

する調査結果が処分場の選定にること、機構側が学術的調査と

加した百五十人を超えるへの説明会を開催しまれ

人を超える市民に、

リング調査が当市だけで行わ 国四カ所の対象地域のうちボ

に説明した後、

について市議会議員全員協議会

市では反対表明

進める当市にそぐわない調査で

などがあげられます

有識者など専門的見地からの情しつかり見極める必要があった。調査の意図する目的や本質を

反対意見続出、市民説明会知事も反対を表明

時中止を求める要請書を手渡し 安院院長と機構理事長あての即念を払拭しきれないとして、保 調査としても、

からは、 める決議」が手渡されました。 決された「調査の即時中止を求 また、 保安院の倉崎課長は『重く受 同日市議会定例会で可 市議会の河野好宣議長

を希望。 場の選定とは無関係であるといけ止める』としながらも、処分 されたい』と伝えま らも『決議は市民の総意と理解 お断りする』とし、 う理解を得るため、 倉崎課長は、 市長は『住民説明会も得るため、住民説明会 その後の報道機 河野議長か

3

まで。

情報を提供近隣の市町村などにも

行ってきています。 情報を提供 隣市町村や広域振興圏内市町に 対表明に係る経緯について、 市では、これまでの調査の反 支援の依頼を 近

見守りながら、 て調査の中 今後、 県や関係市町村の支援も得 保安院や機構の動向を 止に向け取り 市議会と連携 組んで

◎問い合わせ先記 (a) (b) 2 行くことにしています。 内線232・ 市政策企画室



#### 市長と議長は中止求める保安院が正式に市長に説 を求める意見が多く出されまし取り組むべき」など調査の中止

廃棄物規制課の倉崎高明課長と

私のひと言(説明会参加者から)

調査中止の意見が多く出された説明会

される」「中止に向けて具体的に

市民からは「風評被害も心配

い』と説明がありました。

結果であり、

ご理解いただきた

断しなければならないと考えた

報も収集した上で、

総合的に判

ためにも、きちんとした説明を望みます。たのか不信感があり、説明不足を解消するたのか不信感があり、説明不足を解消するたのか不信感があるはず。それが機構が行うとな調査には誰が何のために行うのかとい 急な対応が必要と思い今後、市民全員の反対 市民全員の反対署名をも



笹村庄吾さん

(中央通り)

多田悦子さん (宮守町)

食材を提供していることから、遠野のイが出ましたが、農産物直売所で安心安全なのではと不安を覚えます。風評被害の意見のではと不安を覚えます。風評被害の意見が出ましたが、農産物で進めている 野を守っていかなければと強く思いメージが壊れる、永遠の日本のふる

いう認識を示しています。れなければ調査はできない』と関の質問に『市民の理解が得ら 、市の意向に沿っ、あくまでも学術 広報遠野 平成19(2007)年 1月号 No.18